

情報宅急便

▽時の話題「海の日」



7月の第3月曜日

(2011年は7月18日)は「海の日」でした。

「海の日」は、近年制定された祝日であることをご存知ですか？

●祝日となる前は、「海の記念日」でした。

数々の近代日本の改革を断行された明治天皇が、東北地方を視察の際、軍艦でなく明治丸という灯台巡視船に乗船されました。このことは、当時としてはとても印象的なことでした。そのため、青森から横浜へ帰港された7月20日が「海の記念日」とされました。

●その後、国民の祝日として「海の日」を設けようという国民運動が盛り上がり、1996年から「海の日」と制定されました。更に2001年6月、「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律」が成立したことにより、2003年から「海の日」は7月の第3月曜日となり、三連休化されました。

●三連休化に伴い、広く国民に「海」に対する理解と認識を高めてもらうため、7月1日から31日までの1ヶ月間が「海の月間」と定められました。海の月間には、全国各地で海に関する各種様々なイベントが行われます。今年開催が予定されていた「海フェスタおのみち」は、東日本大震災の影響で来年に延期となりました。その代替として、被災された方々の復興を願い、「届けよう希望の光・夢・未来」をスローガンとしたイベントが開催されました。

●日本は、海に囲まれた海洋国です。外国の文化が海を通じて伝わってきたことをはじめ、古来から人の往来や物の輸送、産業、生活などの広い分野にわたって、海に深くかかわり、海とともに生活してきました。現在は、マリレジャーの普及や過密化する都市の新たな開発区域としてウォーターフロントの開発・整備が進むなど、海を利用する機会は多様化しています。海なくして、日本の繁栄はありません。その一方で、地球環境の保全という観点で海洋汚染から海を守ろうという運動も高まっています。

「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日」という「海の日」本来の趣旨を思いながら、海について考えてみませんか。

東京海上日動情報宅急便より

事故対策 ワンポイント アドバイス

～元満 尚人～



子どもたちにとっては待ちに待った夏休みの始まり、同時に交通事故の危険も待ち受けています。今回はこの時期に多い子どもの事故についてご案内致します。自転車でプールや友達の家へ遊びに行くなど、今まで学校で過ごしていた時間帯に子どもだけで行動する機会が増え、その分事故に巻き込まれてしまう危険も増加します。子どもたちを事故から守るために私たちドライバーは子どもたちの特性や事故の特徴をよく理解しておく必要があります。

子どもは一般的に成人と比べ、危険を予測し回避する能力が劣るなど交通安全に対しての知識や技能が十分に備わっていません。その為、飛び出しや横断歩道の無い場所での横断など、安全確認が不十分なことによる事故が多く発生しています。また特に集団で行動している子どもは周囲への注意力が散漫になっています。公園の周辺やスクールゾーン、自転車に乗っている子どもたちの側を通過する際には、飛び出してくるかもしれないと気を配りましょう。保護者の方々は日頃からこのような点をお子様へ声かけすることで、お子様に交通安全意識を持たせるよう心がけて下さい。

立ち読み・ななめ読み

★コンサルタントの「ひと言」カ

著者：野口吉昭 価格：820円 出版：PHPビジネス新書

組織の外部から働きかける立場のコンサルタントである著者の思考習慣や口ぐせが具体的に披露されている。企業内で働く読者にも参考になる。人に話す前に、自分の中で“ひと言”に凝縮してみる。いかがですか？

★「意識の量」を増やせ！

著者：斎藤 孝 価格：777円 出版：光文社新書

できる人は意識の量が多い。「次の予測をせず、現状だけの仕事を完了させる人」「課題があるのに、現状維持で通そうとする人」、著者に言わせると、このような人は、みな意識量の不足が原因になっているという。後半は、意識の量を増やすためのトレーニングを紹介している。

スタッフの声

～小川 明彦～

久しぶりに実家の山口県に戻る機会があり、子供の頃遊んだ公園を通りました。街の人通りは減り、建物の色々はかすれ、大好きだったプラモ屋もありませんでしたが、公園には昔と変わらぬ子供達の姿がありました。単に懐かしいと思う感覚とは別の、不思議な感情が湧きあがります。これは何だろうと考えた瞬間・・・、歳を取りそうでやめました。危なく老け込む所でした。セー——フ！！

損害保険・生命保険に関する、疑問・質問がございましたら、お気軽にご連絡ください！(スタッフ一同)

(有)不二越総合保険事務所

〒811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町

花ヶ浦1-13-20-102

TEL 092-939-5788

FAX 092-939-5799

H/P <http://www.fujikoshi-hoken.jp>

E-mail info@fujikoshi-hoken.jp

月の満ち欠け



8/6(土) 上弦
8/14(日) 満月
8/22(月) 下弦
8/29(月) 新月

ある調査に拠りますと、死亡事故に関しては、新月、満月の時期に集中しているという・・・。私の長年の代理店経験でも、明らかに自動車事故は新月、満月の日に多いのです。いつにも増して安全運転を。